

## 米国議会の真珠湾攻撃に関する調査報告書

### 経緯

日本軍による真珠湾攻撃の被害の大きさから、太平洋艦隊司令長官 キンメル海軍大将と ハワイ軍管区司令官 ショート陸軍中將が、防備責任の怠慢を理由に退役させられた。

処罰を正当化するため、ホワイトハウスは直後の12月16日に大統領特命による調査委員会（ロバーツ委員会）を発足させ、なぜこれ程大きい被害を受けたのか、の調査に当たさせた。

しかし調査の方法が余りにも政府側（の責任回避）に偏っていたため、調査に対して疑惑が深められた。

米国の勝利が確定的になった1944年（昭和19年）に、職務怠慢の理由で退役させられたキンメル海軍大将、ショート陸軍中將から、えん罪を晴らすために正式の軍法会議開催要求が起こった。

その理由は政府首脳が日本軍の真珠湾攻撃を事前に知りながら、故意に現地司令官に知らせず、被害発生の責任を押しつけたとするものであった。

法廷で事実関係を争うことの不利を避けるため、ルーズベルト政権のホワイトハウスは、陸軍、海軍長官に指導監督権限がある陸軍査問委員会、海軍査問委員会での再審を実施することで決着を図った。

両軍の査問委員会における判決は、事実の立証するところに基づき、（当時の）現役の個人または団体の誰も、違反を犯していないし、重大な過失を招いていないというものであった。

しかし海軍長官 ノックスは、ルーズベルト政権首脳が計画した「日本を挑発し先制攻撃をさせることによる、戦争開始の筋書き」を秘匿するため、事実上海軍査問会議の判決を破棄してしまった。

その後議会在この件の調査に乗り出すと、当時のホワイトハウスは自ら調査を取り仕切る方が賢明と判断し、与党である民主党主導による上下両院合同の真珠湾調査委員会（以下議会合同調査委員会という）を発足させた。

延べ70日の聴聞会で331名から証言を集め、1千万語におよぶ調査資料を集めた。しかし民主党、共和党との政治上の駆け引きから、軍人に対する昇進をエサにした、暗号解読書類の破棄などの証拠の隠滅工作や、左遷の暗示、脅迫による証言の撤回、記憶喪失、証人としての出頭拒否などがおこなわれた。

その結果、議会合同調査委員会の結論はハワイの司令官達の過失は判断の誤りであって、義務の怠慢ではない。というものに変更されたが、真実の解明とはほど遠い、うやむやなものとなった。

ニューヨーク、タイムスの記事によれば、真珠湾の防備の怠慢を問われて退役させられた当時の太平洋軍司令長官キンメル海軍大将と、ショート陸軍中將の名誉を回復する決議が、1999年5月25日に上院で賛成52、反対47で採択された。

遺族にとっては58年振りの悲願達成であった。

提案者のロス上院議員は歴史の誤りを正し、二人を公平に扱うべきであると説明した。

その理由は当時のルーズベルト政権の閣僚、軍の最高司令官らが日本軍のハワイ攻撃を暗号解読から事前に知っていたながら、ハワイの現地軍司令官に意図的に連絡しなかった事実が、その後の情報公開法の制定により、公開された資料の一部から明白になったからです。

たとえば議会合同調査委員会の報告書の中の少数派報告（Conclusion 13, pp.38-40）によると、（昭和16年、）11月中にワシントンの高官たちが、（ハワイの現地軍司令官である）ショート将軍とキンメル提督に送った電報は、かくも矛盾と不正確な言葉で述べられていたので、日本との外交関係の状況、日本の戦争計画および取るべき特別行動に関する明確な命令、「すなわち全面的警戒の必要性について、疑問の余地のない命令」を、司令官らに伝達していなかった。

合衆国大統領は、事態が戦争切迫の度を増すに従い、情勢を判断し、ハワイの司令官等に明確な命令を下すに当たり、軍の最高指揮官たちとの間に、継続的、効果的、かつ適切な協同作業を行わせることができなかつたことについて、責任がある。

したがって、権限上から必然的に、パールハーバー惨事を招いた一連の事項に関連して、大統領に責任があることは疑う余地がない。

この点について、憲法および法律の文言は完全無欠に表明している。

1：なぜ攻撃を知らせなかつたのか、その理由は以下にある。

昭和14年（1939年）から始まつた第2次世界大戦で、ドイツに苦戦を強いられていた英国のチャーチル首相の求めに応じて、米国のルーズベルトは英国に駆逐艦など50隻の艦艇、船舶を含む大量の軍事援助をした。

その見返りとして、米国の極東（特に中国）における権益確保、拡大を認めさせ、それと共にアジア、太平洋地域における米国の覇権獲得に障害となつていた日本を、叩き潰すことへの協力を約束させた。

戦争中、米国の武器貸与法に基づくイギリスに対する援助額は、当時の金額で276億2千5百万ドルにのぼりました。

当時の米国内には外交に対する孤立主義、モンロー主義の信奉から、英国を助けるためのヨーロッパへの参戦や、日本との戦争に反対する世論が圧倒的に強かつた。

世論の反対を押し切つて日本との戦争を始める為には、日本に先制攻撃をさせることが是非とも必要であつた。

さらに日本と戦争になれば、日本と三国（軍事）同盟を結ぶドイツ、イタリアに対しても戦争開始の口実となり、英国を助けるために、ヨーロッパでの戦争に公然と参戦する為の大義名分が得られる大きな利点があつた。

モンロー主義とは欧米両大陸の相互不干渉を主張する米国の外交原則で、1823年第五代米国大統領のモンロー（1758～1831）がラテン、アメリカ諸国独立に関する欧州諸国の干渉を拒否する宣言を発したことに基づきます。

開戦の7ヶ月前のギャラップ世論調査（この世論調査は昭和15年から昭和16年まで何度もおこなわれました）では、極東の問題のためにアメリカが戦うことに対して79パーセントが反対であり、6ヶ月前の調査ではフィリピンが攻撃されても戦争反対が34パーセントもありました。

ルーズベルトは、以前から有色人種を忌み嫌つていましたが、彼の部下で側近中の側近として対日政策に深くかかわつた、大統領顧問のハリー、ホプキンスも人種差別主義者でした。

そこから白人による世界支配の構造へと政策を発展させたのでした。

平成6年（1994年）にそれまで機密扱ひだつた二つの文書が、米中央情報局（CIA）から公開されました。

「真珠湾－当時と今日の評価」、「国家を評価する主目的」の二つの論文で、それぞれ副題が「情報士官の意見をねじ曲げたアメリカの固定観念と希望的観測」、「第二の真珠湾を避けるために」となつています。その要旨は、

(A)、もともと米国政府は日本政府の最高機密である外交暗号を解読していた。

日本が開戦決定を関係機関に知らせる風（かぜ）暗語（号）にも気づいていた。

したがってハワイやフィリピンが、日本軍の攻撃を受ける危険も知つていた。

しかし日本人に対する蔑視、偏見からそんな意志も（軍事的）能力も、考慮に値しないという固定観念を持つていた。

日本政府は昭和16年11月19日に、もしアメリカとの開戦が極秘裏に決定された場合、世界各地の外交団宛に毎日の日本語短波ニュース放送の最中に、偽の天気予報「東の風、雨」を挿入して知らせることを決定しました。

もし日本が、タイ、マラヤ（マレーシア）および蘭印（オランダ領であった現インドネシア）を含めたイギリスと戦争を開始する場合には「西の風、晴」の合図が放送され、もしソビエトを攻撃する場合は「北の風、曇」と合図されることになっていました。

そして「東の風」と「西の風」の「風メッセージ」は、海外に向けて12月5日に放送されました。

(B)、日本人にはアメリカに大きな損害を与える能力はない。新規軸をとり入れる能力もないし、真似することができるだけだ。彼等が保有する兵器は、すべて欧米の兵器のコピーに過ぎないと考えていた。

(C)、日本人は、解剖学的に内耳に欠陥がある。（子供の頃から母親に背負われて、揺られて育つので三半規管の発達が悪いという理由）、しかも近視眼が多いので、平衡感覚を欠くとしていた。

また気圧の変化に対応できず、飛行機の操縦は無理であり。爆撃照準はもちろん、アクロバットなどの高等飛行もおぼつかないと技量評価をしていた。

(D) 日本人は武士道の戒律に従う。

また人命を軽く見る性向を持つ。飛行機が錐もみ状態に入ったりすると、両手を下腹に組み、祖国の万歳を唱え、完爾として死に臨む。

欧米人のように生き抜く努力、故障を直す努力もせず、最後に落下傘降下をしたりしない。（日本で勤務したことのある数名の飛行教官の意見）

(E)、日本人は単独よりも、ドイツ人以上に集団志向を持っている。搭乗員は特性としては単独なので、拙劣な個人主義者である日本人は当然、拙劣な搭乗員でしかあり得ない。

別の資料によれば、元来蒙古系人種である ジャップの目は Slant Eyes（狐の目）でつり上がっているから、片側の目を閉じることができない、従って射撃には不向きであるということが、米国の軍関係者の間でまともに信じられていました。

日本海軍の実力をせいぜい三流国並とみなしていたため、その当時すでに対空レーダーが配備されていた真珠湾が、もし日本軍の先制攻撃を受けたとしても、被害はごく軽微であろうと ホワイトハウス首脳と軍の最高指揮官は判断していました。

オアフ島最北端（ホノルルの北西四十五キロ）のカフク岬にある陸軍 オパマ対空レーダー監視所は、現地時間の午前7時2分（日本軍の攻撃開始の約50分前）に北から近づく大編隊の目標を130 マイルの距離で探知しました。

レーダー監視兵からの報告に対して陸軍の当直将校は、接近 コースが北と東からでは大きく異なるにもかかわらず、当日に北米本土から ハワイに飛来する予定の B-17 爆撃機の12機であるとみなして、何の措置も取りませんでした。

日本軍によるフィリピンではなく、予想もしなかったハワイに対して、空母機動部隊からの350機を使用した大規模な攻撃と甚大な損害は、ルーズベルト政権首脳を仰天させました。

彼等は自分達の判断の大失敗を覆い隠すために、和平交渉の最中に日本がいきなり攻撃し、だまし討ちに遭った、宣戦布告前の卑劣な攻撃だとする虚偽の口実を作り、自分達の責任回避に極力努めました。

## 2：騙し取られた暗号解読機

その当時アメリカは日本の外交暗号の解読に成功していました。

外国から紫暗号（Purple Code）と呼ばれていた外交暗号をアメリカが解読したのは、昭和15年（1940年）10月といわれています。

実はその前年に日本は97式欧文印字機（97式とは皇紀2597年＝昭和12年の、97から採ったもので、その年に欧文印字機として軍隊で制式化されたもの）を導入し、これを外務省はもっぱら外交通信に利用していました。

アメリカの陸軍情報部がそこに注目し、この欧文印字機を模した暗号解読機（Purple Machine）を8台作成し、それを使用することにより、日本の外交暗号を早くから解読に成功していました。

昭和15年（1940年）の末、米英両国の陸、海軍幕僚長（制服組のトップ）はお互いの暗号解読情報を、すべて交換するという事に同意しました。

その一環としてアメリカ側は、日本の外交暗号電報の解読に使用していた「Purple Machine」（紫暗号解読機）をイギリスの暗号解読部に提供することに同意しました。

そのお返しにイギリス側はドイツの暗号を解読するのに使用していた「エニグマ暗号解読機」を、米側に手渡すものと思われていました。

この協定を完全に実施するため翌16年初め紫暗号解読機2台を携えて、米側の情報チームがロンドンに到着しました。

しかしこの2台のうちの1台は、もともと昭和16年（1941年）5月に真珠湾に海軍通信情報班が設置されたとき、同班宛に送られる予定になっていた暗号解読機だったのです。

その結果、真珠湾の通信情報班はロンドンに品物を横取りされたので、次の紫暗号解読機が製作され、送られて来るのを待たねばなりませんでした。

そしてそれは日本軍の攻撃の日までには、遂に間に合いませんでした。

もし暗号解読機がロンドンに送られずにいたならば、ハワイの太平洋艦隊司令部の通信情報班でも日本の外交暗号の電報解読がおこなわれて、真珠湾攻撃を事前に察知できたかも知れませんでした。

ちなみに英国外務省はたとえ相手が友好国といえども、英国の陸、海軍幕僚長（制服組のトップ）にはそのような協定を外国と結ぶ法的権限がないとして、「エニグマ暗号解読機」の米国への提供を拒否しました。

端的に言えば米国は貴重な紫暗号解読機を2台も騙し取られたのです。

英国から虚仮（コケ）にされて米側情報チームは手ぶらで帰国することになりましたが、その後アメリカの軍内部でこの協定に関する責任の所在について、激しい非難の応酬が起きました。（掴めなかった勝機、デニス・ワーナー著）

## 日本の暗号の脆弱さ

前述のように日本の外交暗号は米英により開戦以前から敗戦に至るまで解読されていましたが、海軍についても空母4隻を失ったミッドウエー海戦での大敗や、山本連合艦隊司令長官の搭乗機の撃墜をもたらした原因は、米軍が作戦用暗号を解読し極秘情報を入手した為でした。

唯一 陸軍の暗号だけは、敗戦まで敵に解読されませんでした。

このことは陸軍の暗号技術の高さを示すものでした。

### 3：米国の対日行動方針、真珠湾調査委員会議事録から抜粋

日本が合衆国の外交方針に従わない場合の選択肢として、大統領と政府には次の三つの方法があった。

日本が攻撃を仕掛けて来るまで待つ。

議会の宣戦布告抜きで日本を攻撃する。

和平か、戦争かを議会で諮（はか）る。

この文言だけを見ても、太平洋戦争の原因が理解できると思います。

米国は自国の外交方針に力で従わせようと計画し、従わない場合には武力で屈服させようとしたのが、日本に対する米国の態度であり、それが戦争の原因でした。

陸軍長官スチムソンは1940年（日米開戦の前年）に書いた著書の中で、以下のように述べています。

昔から日本は、アメリカがその明確かつ断固たる極東政策遂行の意志をはっきりした言葉と大胆な行動によって示せば、たとえそれが日本自身のアジア政策や権益と衝突する場合でも、アメリカの政策に屈してきた。

これを見ると嘉永六年（1853年）に浦賀沖に現れ、武力による威嚇を背景にしながら徳川幕府に開港を迫った、米国東インド艦隊司令官ペリーの態度を連想させます。

ペリーによれば「日本とは圧力により、際限なく譲歩する国」でしたが、その88年後にも米国は当時と同じ考えに従って行動したのです。

日本の発展やその後の軍備増強も考慮することなしに。

1941年（昭和16年）11月、戦争の危険が差し迫ったことから大統領はハル国務長官、ノックス海軍長官、スチムソン陸軍長官、マーシャル陸軍大将、スターク海軍大将との会議で、恐らく早ければ翌月曜日（12月1日）には（日本軍の）攻撃を受ける可能性があることを議題とした。

同会議のメンバーは「我々はそれほど危険を冒すことなく、彼ら（日本）に第一撃を仕掛けさせるにはどうすべきか」を協議した。

大統領、国務長官、陸軍長官、海軍長官は、議会に和平か、戦争かを諮問する提案には同意せず、11月25日から12月7日までの間に、日本による攻撃の「第一弾」を待つ戦術を選択した。

ハル国務長官は11月7日に政府閣僚に対して、戦争が迫っていることを警告し、11月27日には、特に陸軍省に対して、日本との交渉がほとんど終わったことを知らせた。

陸軍の報告書によれば、「マーシャル陸軍大将とスターク海軍大将（陸海軍人トップ）は、ハル国務長官が二人の事前の同意を得ずに、日本に対する最後通告（ハル、ノート）をしたこと」を非難した。

ハル国務長官は日本へ最後通告をした後でもその内容を、アメリカ議会にさえも秘密にしていました。

#### 4：ウェデマイヤー大将の証言

太平洋戦争中、陸軍参謀本部作戦課長の職にあり、後に陸軍大将になったウェデマイヤー将軍（1897～1989年）によれば、日本の真珠湾攻撃がアメリカによって計画的に挑発された結果であるという事実は、真珠湾の惨敗と、それに引き続き（米国の植民地である）フィリピンを失ったことにより、覆い隠されてしまった。（ウェデマイヤー回想録）

#### 5：ウォルター・ミリスの言葉

太平洋戦争は我が国が計画し、管理し、そして実施された戦争である。（アメリカの歴史家） 6：モーゲン・スタンレーの言葉

シカゴ・トリビューン紙の論説委員であったモーゲン・スタンレーは真珠湾調査報告書を精査した結果、著書「Pearl Harbor」（日米開戦の真相とルーズベルトの責任）の中で次のように述べています。

太平洋戦争開始について、政府のほんの僅かな指導者たちが国家の政策を、まるで「私的な蓄え」のように（勝手に）処理していた。

彼らの意志決定は戦争が終わってしまってから、アメリカ国民に発表された。それでも当局の秘密のカーテンの背後でなされた、多くの事の一部が窺えたに過ぎない。

ベトナム戦争の時のように、アメリカはずるずると（太平洋）戦争に、はまって行ったのではない。

ホワイトハウス首脳が計画したところの系統だった図式の針路に沿って（開戦への道をたどって）行ったのである。

アメリカの情報部が「ジャップ」の暗号電報を傍受解読し、まぎれもなく12月7日（ハワイ時間）に、パールハーバーを攻撃すると指摘していたが、当時はハワイの軍司令官は日本の攻撃について何も知らされなかった。

この暗号傍受を読んだワシントンの人々（米国政府首脳）はあたかも東京の戦争会議（天皇の御前会議）に列席しているかのように、日本の計画と目的について十分な知識を持っていた。

哀れなことに日本政府は暗号解読に全く気がつきませんでした。その結果外務省から三国同盟を結んでいたドイツ、イタリアの日本大使館宛の極秘電報もすべて傍受解読することにより、7月8日には、アメリカは御前会議決定による日本の新国策方針を知るところとなりました。

「大日本帝国は大東亜共栄圏を建設し、支那事変処理に邁進し、自存自衛の基礎を確立するため、南方進出の歩をすすめ、また情勢の推移に応じ、北方問題を解決す。

そして本目的達成のため、対英米戦を辞せず。」

つまり国家として、次の戦争への決意を明確にした内容でした。

米国は真珠湾攻撃前の3時間50分前に戦争勃発の時刻を知っていた。

それは日本政府からの我々の対米回答を、そちらの時間で7日午後1時に米国政府へ、できれば国務長官へ手交願いたい、と述べた野村大使宛の外交暗号電報を解読していたからである。

ワシントン時間の午後1時とはマニラでは午前2時であり、ハワイでは日の出から1時間4分後の午前7時30分である。空軍による奇襲の最適時刻は、日の出の直後というのが軍の法則である。それゆえ日本の攻撃は他のどこでもなく、ハワイであるのは間違いないと判断できた。

===== English =====

US Parliament's attack on Pearl Harbor

background

Due to the magnitude of the damage caused by the attack on Pearl Harbor by the Japanese Army, Admiral Kimmel, Commander of the Pacific Fleet, and Short Army, Commander of the Hawaii Army Division  
The lieutenant general was retired because of his negligence in defense responsibility.

To justify the punishment, the White House launched a special presidential investigation committee (Roberts Commission) on December 16 immediately afterwards.  
, I asked him to investigate why he suffered so much damage.

However, the method of investigation was so biased toward the government (avoidance of responsibility) that the investigation was deeply suspicious.

Admiral Kimmel, Short Land, was retired due to dereliction of duty in 1944 (Showa 19), when the victory of the United States became definite.  
A formal court martial request was made by the lieutenant general to clear the crime.

The reason is that the government leaders know in advance the attack on Pearl Harbor by the Japanese army, but intentionally do not inform the local commander and hold the responsibility for the damage.  
It was a digit.

To avoid the disadvantage of fighting facts in court, the Roosevelt administration's White House gives the Army and Secretary of the Navy guidance and supervision.  
It was settled by conducting a retrial at a certain Army Inquiry Committee and Navy Inquiry Committee.

The rulings of the inquiry committees of both armies, on the basis of factual evidence, committed violations by any active individual or group (at that time).  
It wasn't, and it didn't cause any gross negligence.

However, Secretary of the Navy Knox said, "The story of the start of the war by provoking Japan to make a first strike," planned by the leaders of the Roosevelt administration.  
In fact, the decision of the Shanghai Army Inquiry Council was abandoned in order to keep it secret.

Later, when Congress embarked on an investigation into the matter, the White House at the time decided that it would be wise to manage the investigation on its own, and the ruling democracy.

A party-led joint research committee on Pearl Harbor (hereinafter referred to as the Parliamentary Joint Investigation Committee) was established.

At the 70-day hearing, we collected testimonies from 331 people and collected 10 million words of research materials. But political drive with Democrats and Republicans

Evidence obliteration work such as destruction of decrypted documents, suggestion of relegation, testimony by intimidation, feeding on promotion to military personnel from bargaining

Withdrawal, memory loss, refusal to appear as a witness, etc.

As a result, the Parliamentary Joint Investigation Commission concludes that the negligence of Hawaiian commanders is a misjudgment, not a negligence of duty.

However, it became a vague thing, far from the elucidation of the truth.

According to an article in the Times, New York, the then Pacific Commander-in-Chief Kimmel Sea was retired for neglecting the defense of Pearl Harbor.

A resolution to restore the honor of General Army and Lieutenant General Short Army was adopted by the Senate on May 25, 1999, with 52 in favor and 47 against.

It was the first time in 58 years for the bereaved family to achieve their long-cherished wish.

The proponent, Senator Ross, explained that historical mistakes should be corrected and the two should be treated fairly.

The reason is that the ministers of the Roosevelt administration at that time and the highest commander of the army knew in advance from the decryption of the Japanese army's attack on Hawaii.

, The fact that he did not intentionally contact the commander of the local military in Hawaii was revealed from some of the materials released by the enactment of the Information Disclosure Law.

Because it turned white.

For example, according to a minority report (Conclusion 13, pp.38-40) in the report of the Parliamentary Joint Investigation Committee, Washint during November (Showa 16).

The telegrams sent by senior officials to General Short and Admiral Kimmel (the commander of the local military in Hawaii) are so inconsistent and inaccurate.

As it was mentioned, the situation of diplomatic relations with Japan, clear orders regarding Japan's war plans and special actions to be taken, "that is, overall

There was no question about the need for vigilance, "he did not convey to the commanders.

The President of the United States is the best of the military in judging the situation and giving clear orders to Hawaiian commanders and others as the situation becomes more and more imminent.

Responsible for failing to engage in continuous, effective and appropriate collaborative work with the commanders.

Therefore, inevitably from the authority, there is no doubt that the President is responsible for the series of matters that led to the Pearl Harbor disaster.

No .

In this regard, the wording of the Constitution and the law is perfect.

1: The reason why the attack was not notified is as follows.

At the request of British Prime Minister Churchill, who had been struggling with Germany in World War II, which began in 1939. Roosevelt of the United States provided a large amount of military aid to the United Kingdom, including 50 ships including destroyers and ships.

In return, we will allow the United States to secure and expand its interests in the Far East (especially China), and at the same time, the United States in the Asia-Pacific region.

He promised to cooperate in crushing Japan, which had been an obstacle to the acquisition of hegemony.

During the war, the amount of aid to Britain under the US Lend-Lease Act amounted to \$ 27,625 million at that time.

In the United States at that time, from the isolationism to foreign affairs and the Monroe doctrine, participation in Europe to help Britain and the war with Japan

Public opinion against the conflict was overwhelmingly strong.

In order to overcome the opposition of public opinion and start the war with Japan, it was absolutely necessary to have Japan make a first strike.

Furthermore, if it became a war with Japan, it would be an excuse to start the war against Germany and Italy, which have a three-country

(military) alliance with Japan, and helped Britain.

Therefore, there was a great advantage of gaining a cause for openly participating in the war in Europe.

Monroe Doctrine is a diplomatic principle of the United States that insists on mutual non-interference between the two continents of Europe and the United States.

31) is based on the declaration that Latin and European countries refuse to interfere with the independence of American countries.

In the Gallup poll seven months before the start of the war (this poll was conducted many times from 1945 to 1945), it was a problem in the Far East.

79 percent oppose the US fighting because of it, and a survey six months ago showed that even if the Philippines was attacked, the opposition to the war was 34 percent.

There was also a cent.

Roosevelt had long hated colored races, but he was deeply involved in Japan policy as an aide among his subordinates.

Adviser Harry Hopkins was also a racist.

From there, he developed the policy into a structure of world domination by whites.

In 1994, two documents that were previously classified were released by the US Central Intelligence Agency (CIA).

In the two papers "Pearl Harbor-Evaluation of the Time and Today" and "The Main Purpose of Evaluating the State", the subtitles were "Twisting the Opinions of Information Officers".

"American stereotypes and wishful thinking" and "To avoid the Second Pearl Harbor." The gist is

(A) Originally, the US government had broken the Japanese government's top secret diplomatic code.

I was also aware of the wind jargon (No.) that Japan informs the relevant organizations of the decision to open the war.

Therefore, I knew that Hawaii and the Philippines were at risk of being attacked by the Japanese army.

However, due to his disdain and prejudice against the Japanese, he had the stereotype that neither his will nor his (military) ability was worth considering.

On November 19, 1945, the Japanese government sent daily Japanese shorts to diplomatic corps around the world if the opening of the war with the United States was decided in secret.

During the wave news broadcast, we decided to insert a fake weather forecast "Eastern Wind, Rain" to inform us.

If Japan begins a war with Britain, including Thailand, Malaya (Malaysia) and the Dutch East Indies (now Indonesia, which was Dutch territory)

Was to be broadcast with a signal of "Western Wind, Sunny", and if it attacked the Soviet Union, it would be signaled with "Northern Wind, Cloudy".

And the "Wind Message" of "East Wind" and "West Wind" was broadcast overseas on December 5th.

(B) The Japanese do not have the ability to cause great damage to the United States. It doesn't have the ability to incorporate new axes and can only be imitated. they

He thought that all the weapons he possessed were just copies of Western weapons.

(C) The Japanese are anatomically defective in the inner ear. (Since I was a child, my mother carried me on my back and I grew up being shaken, so it is said that the development of the semicircular canals is poor.

Reason), and because there are many myopic eyes, he said that he lacked a sense of balance.

In addition, it is impossible to fly an airplane because it cannot respond to changes in atmospheric pressure. Not only bombsight, but also advanced flight such as acrobatics must be unclear.

I was evaluating the quantity.

(D) The Japanese obey the rules of Bushido.

It also has a tendency to look down on human life. When the plane enters a state of cones, he puts his hands on his lower abdomen, chanting his homeland, and dies as a complete man.

Face.

They do not make efforts to survive or fix breakdowns like Westerners, and do not parachute at the end. (Flights of several people who have worked in Japan

Instructor's opinion)

(E) The Japanese are more group-oriented than the Germans, rather than alone. The crew is a single trait, so the day they are poor individualists



Of course, he can only be a poor crew member.

According to another source, Jap's eyes, which are originally of the Mongolian race, are raised by Slant Eyes, so close one eye. It was decently believed by US military personnel that it could not, and therefore was unsuitable for shooting.

Pearl Harbor, where anti-aircraft radar was already deployed at that time, was supposed to be the Japanese Navy because it regarded the Japanese Navy as a third-class country at best. The White House leaders and the commander-in-chief of the army determined that the damage would be negligible, even if they were hit by the first strike.

The Army Opama Anti-Air Radar Observatory at Cape Kahuku on the northernmost tip of Oahu (45 km northwest of Honolulu) is at 7:02 am local time. Detected the target of a large formation approaching from the north (about 50 minutes before the start of the Japanese attack) at a distance of 130 miles.

In response to reports from radar observers, Army on-duty officers said that North America on the day, despite the fact that the approach courses differed significantly from north and east. No action was taken, considering it to be 12 B-17 bombers scheduled to fly from the mainland to Hawaii.

A large-scale attack and enormous attack using 350 aircraft from the aircraft carrier task force against the unexpected Hawaii, not the Philippines by the Japanese army. The damage stunned Roosevelt's leaders.

They were pre-declaration of war, where Japan suddenly attacked and was deceived during peace talks to cover up the blunder of their judgment. We made a false excuse to say that it was an inferior attack and tried to avoid our responsibility as much as possible.

2: Deceived decryption machine  
At that time, the United States had succeeded in breaking Japan's diplomatic code.

It is said that the United States deciphered the diplomatic code, which was called the Purple Code from foreign countries, in October 1940.

In fact, the year before that, Japan was a 97-type European printing machine (97-type was taken from 97 in the imperial year 2597 = 1945, and was used as a European printing machine in that year. Was formalized by the military), which was used exclusively by the Ministry of Foreign Affairs for diplomatic communications.

The U.S. Army Intelligence Department paid attention to this, and by creating eight Purple Machines that imitated this European language printing machine and using them, I succeeded in deciphering Japanese diplomatic code from an early stage.

At the end of 1940, the US and British Army and Navy Chiefs of Staff (the top of the uniform group) decided to exchange all the decryption information with each other. I agreed.

As part of this, the American side deciphered the "Purple Machine" that was used to decipher Japanese diplomatic code telegrams in the United Kingdom. I agreed to provide it to the department.

In return, the British were supposed to hand over to the US the "Enigma cryptanalyzer" that was used to break the German code.

In order to fully implement this agreement, the US intelligence team arrived in London in early 2016 with two purple cryptanalyzers. But these two. One of them was originally scheduled to be sent to the Navy Communication Information Group when it was established in Pearl Harbor in May 1941. It was a cryptanalyzer.

As a result, the Pearl Harbor communications team had the goods stolen in London, so we had to wait for the next purple cryptanalyzer to be built and sent. I didn't.

And it was finally not in time by the day of the Japanese attack.

If the cryptanalyzer was not sent to London, the communications information team at Hawaii's Pacific Fleet Command would also decrypt the Japanese diplomatic code by telegram. It may have been possible to detect the attack on Pearl Harbor in advance.

By the way, the British Foreign Ministry has signed such an agreement with foreign countries for the British Army and Navy Chief of Staff (the top of the uniform group), even if the other party is a friendly country.

He refused to provide the "Enigma Cryptanalyzer" to the United States because he had no legal authority.

In short, the United States was deceived by two precious purple cryptanalyzers.

The U.S. intelligence team was forced to return empty-handed after being mossed by the United Kingdom, but was subsequently responsible for the agreement within the U.S. military.

There was a fierce criticism of his whereabouts. (The winning opportunity that I couldn't grasp, by Dennis Warner)

Japanese cryptographic weakness

As mentioned above, Japan's diplomatic code was deciphered by the United States and Britain from before the war to the defeat, but the Navy also lost four aircraft carriers.

The cause of the great defeat in the A naval battle and the shooting down of the boarding machine of the Commander-in-Chief of the Allied Fleet Yamamoto was because the U.S. military deciphered the operational code and obtained confidential information.

was.

Only the Army code was not cracked by the enemy until the defeat.

This was an indication of the high level of Army cryptography.

3: Excerpt from the minutes of the Pearl Harbor Investigation Committee Meeting, US Action Policy for Japan

If Japan does not follow US diplomatic policy, the president and the government have three options:

Wait until Japan launches an attack.

Attack Japan without a declaration of war in Congress.

Ask Congress whether it is peace or war.

I think you can understand the cause of the Pacific War just by looking at this wording.

It is the United States' attitude toward Japan that the United States planned to forcefully obey its diplomatic policy, and if it did not, it tried to give in by force.

That was the cause of the war.

In a book written in 1940 (the year before the start of the war between Japan and the United States), Secretary of the Army Stimson stated:

From ancient times, Japan has been saying that if the United States shows its clear and decisive intention to carry out Far East policy with clear words and bold actions, it is the day.

Even in the case of conflicts with the book's own Asian policies and interests, it has succumbed to American policy.

Looking at this, the commander of the US East India Squadron, who appeared off the coast of Uraga in 1853 and urged the Tokugawa Shogunate to open a port against the backdrop of the threat of force.

It is reminiscent of the attitude of official Perry.

According to Perry, "Japan was a country that made endless concessions due to pressure," but 88 years later, the United States acted according to the same ideas as at that time.

was.

Without considering the development of Japan and the subsequent military buildup.

In November 1941 (Showa 16), due to the imminent danger of war, the president was Secretary of State Hull, Secretary of the Navy Knox, Secretary of the Army Stimson, and Mar.

At a meeting with Admiral Shall and Admiral Stark, there is a possibility of being attacked (by the Japanese) at the earliest next Monday (December 1st).

Was the agenda.

Members of the conference discussed, "What should we do to get them (Japan) to launch a first strike without taking too much risk?"

The President, Secretary of State, Secretary of the Army, and Secretary of the Navy disagreed with the proposal to consult Congress for peace or war, from November 25th to December 7th.

In the meantime, he chose a tactic to wait for the "first" attack by Japan.

Secretary of State Hull warned government ministers on November 7 that a war was imminent, and on November 27, negotiations with Japan, especially with the Ministry of the Army, were held.

I told you that it was almost over.

According to an Army report, "Admiral Marshall and Admiral Stark (Top Army Navy) did not have the prior consent of Secretary of State Hull.

I gave the ultimatum to Japan (Hull, Note). "

Secretary of State Hull kept the content secret even to the US Congress, even after the ultimatum was given to Japan.

#### 4: Testimony of General Wedemeyer

According to General Wedemeyer (1897-11989), who was in the position of Chief of Operations at the Army General Staff during the Pacific War and later became Army General.

The fact that Japan's attack on Pearl Harbor was the result of a deliberate provocation by the United States was followed by the devastating defeat of Pearl Harbor (in the US colonies).

(A) It was obscured by the loss of the Philippines. (Wedemeyer memoirs)

#### 5: Words of Walter Millis

The Pacific War is a war planned, managed, and carried out by Japan. (American historian) 6: Words of Mogen Stanley

Mogen Stanley, an editorial writer for the Chicago Tribune, scrutinized the Pearl Harbor research report and found that his book "Pearl Harbor" (Japan-US War)

The truth and Roosevelt's responsibility) states:

With regard to the start of the Pacific War, only a few government leaders were (arbitrarily) treating national policies as if they were "private reserves."

Their decision was announced to the American people after the war was over. Still, many things were done behind the secret curtain of the authorities

Only a part of it was seen.

I wasn't addicted to the (Pacific) war when the United States slipped like it did during the Vietnam War.

It went along the course of the systematic scheme planned by the White House leaders (following the path to the beginning of the war).

U.S. intelligence has intercepted and deciphered the "Jap" encrypted telegram and pointed out that it would undoubtedly attack Pearl Harbor on December 7 (Hawaii time).

However, at that time, the Hawaiian military commander was not informed of the Japanese attack.

The people of Washington (US government leaders) who read this cryptographic interception seemed to be present at the war conference in Tokyo (the emperor's front conference).

He had sufficient knowledge about Japan's plans and objectives.

Unfortunately, the Japanese government was completely unaware of the cryptanalysis. As a result, the Japanese embassies in Germany and Italy, which had formed a tripartite alliance with the Ministry of Foreign Affairs.

By intercepting and deciphering all confidential telegrams addressed to the United States, on July 8, the United States became aware of Japan's new national policy based on the decision of the Gozen Kaigi.

"The Empire of Japan built the Greater East Asia Co-Prosperity Area, and proceeded to deal with the Sino-Japanese War, and in order to establish the foundation of self-defense, we proceeded to advance to the south, and the situation.

The Northern Territories issue will be resolved according to the transition of.

And in order to achieve this goal, he will not quit the war against Britain and the United States. "

In other words, it was a content that clarified the determination for the next war as a nation.

The United States knew the time of the outbreak of the war 3 hours and 50 minutes before the attack on Pearl Harbor.

It said that we would like to ask the Government of Japan for our response to the United States at 1:00 pm on the 7th, preferably to the Secretary of State.

This is because he had decrypted the diplomatic code telegram addressed to Ambassador Nomura.

1:00 pm Washington time is 2:00 am in Manila and 7:30 am in Hawaii, one hour and four minutes after sunrise. The optimal time for a surprise attack by the Air Force is at sunrise

Immediately after is the law of the army. Therefore, it was determined that Japan's attack was nowhere else, and that it was Hawaii.

